

和地ひとみレポート No.442



“議員定数を含めた議会の在り方について” 全員協議会で議長が意見聴取

東大和市議会の議員定数22人は妥当か・・・

■関田議長が全員協議会を開催し・・・

…7月27日、東大和市議会では「議員全員協議会」(以下、全員協議会)が開催されました。

【議員全員協議会】(東大和市議会 議員の手引より)

その名のとおり、議員全員を構成員とする会議であり、議長が招集し、主催する。議会の運営や市政の課題等に関し協議または調整を行うための会議であり、市長が市政の課題等の報告のために開催を依頼して行われることが多い。運営には会議規則が適用されないため、「東大和市議会議員全員協議会規定」(平成22年7月議長決裁)を設け、公開、傍聴、記録の作成等、運営に関し必要な事項を定めている。

…今回、議長が招集、主催した全員協議会の議題は「議員定数を含めた議会の在り方について」。

その開催理由について議長からは『「市議会議員の定数が多いのではないか」という市民の声を私自身、複数、耳にしている。市も行政改革を行っている中、市議会としても、自ら、議員定数の在り方について議論すべき時期だと考えた。また、議員定数については、会派というより、議員一人ひとりの問題であるから、会派代表者会議ではなく、全員協議会で全議員の考えを伺うこととした。さらに、良い機会なので、その他、議会の在り方について議論したい事柄なども出していたく場としたい。』という旨の考えが示されました。

…私は、このような議員定数や議会の在り方について、全議員が考えを述べ合う機会を設けてくれた議長に賛同。なぜなら、私が初当選した時(2011年)から、「市議会議員の人数は多いのではないか」といった市民の声が、私のもとにも何度も寄せられているからです。

…また、人口減少が進んでいる中、市は人口減少を少しでも食い止めるために様々な施策を展開していると同時に、減少した人口でも持続可能な市政運営を実現するため、人口規模に合った市政運営についても検討し、様々な計画に反映させています。

…このような状況の中、来年の4月に市議会議員選挙を控えている今、市議会としても自ら、議員定数などについて、改めて考える必要がある時期に来ていると、私自身、感じていました。

■東大和市議会の定数の変遷

…議員定数は、各自治体が条例により定めています。以前は、市町村議会の議員定数は、それぞれの市町村の人口数に応じて法律で上限が定められていましたが、平成23年の地方自治法改正により、それまで人口段階別にあった議員定数の上限も撤廃されています。ちなみに、東大和市の令和4年7月1日現在の人口は85,098人(外国人住民数1,279人を含む)。自治法改正前の法定上限値では人口5万人～10万人未満の市に該当し、市議会議員数の上限は30人となります。

…現在の条例で定められている東大和市議会議員の定数は22人。これは平成10年(1998年)の第3回市議会定例会での条例改正によるもので、以来、24年間、改正されていません。この議員定数22人となるまでの変遷は以下の通りです。

【東大和市議会議員定数の変遷】

※東大和市は昭和45年(1970年)に大和町から東大和市となる。

◆昭和45年(1970年)の議決により議員定数は26人に。(昭和30年に議決された町議会議員定数は20人だった)

〈議員定数26人⇒25人〉

平成7年(1995年)1月に開かれた第1回市議会臨時会では、「議員定数削減を求める陳情」5件は不採択となった。しかし、「議員定数削減を求める請願」1件については意見付き採択となり、最終的に議員提出議案により議員定数条例の改正が原案可決。議員定数が25人に。

〈議員定数25人⇒22人〉

平成9年(1997年)に市議会に設置された“行財政改革調査特別委員会”により、議員定数について調査を実施。議員定数についての特別委員会の委員の意向は委員4人が「3人減の22人とする」、委員2人が「2人減の23人とする」、委員1人が「1人増の26人とする」という結果に。その後、平成10年(1998年)10月に開かれた第3回市議会定例会では、「市議会議員定数に関する陳情」については趣旨採択となり、議員提出議案による議員定数条例の改正は原案可決。議員定数が22人に。

…上記の変遷で、現在の条例で議員定数22人となりましたが、その後も、平成20年(2008年)の代表者会議で定数削減すべきとの意見が出るも賛同が得られず立ち消えに。さらに、平成22年(2010年)に出された「議員定数の削減を求める陳情」については、賛成7対反対14で不採択という結果となっています。

■定数に満たない状況での議会運営

…実は現在、東大和市議会は定数22人に満たない21人の議員で運営しています。以下のとおり、近年、東大和市議会は定員に満たない期間がある状況です。

年月	欠員理由	議員総数
2011年1月	小林 知久議員 辞職	21人
2011年4月	市議会議員選挙	22人
2015年4月	市議会議員選挙	22人
2015年8月	森田 憲二議員 逝去	21人
2017年6月	関野 杜成議員 辞職	20人
2019年4月	市議会議員選挙	22人
2019年9月	関田 貢議員 逝去	21人

(裏面に続く)

…議員が欠員になった理由の逝去以外については、小林議員は市長選立候補準備のための辞職、関野議員は都議会議員選挙に立候補するための辞職です。

…この議員定数の欠員期間、特段、弊害はなかったというのが多くの議員の感想ですが、1点、弊害を挙げるとしたら、議員総数が奇数＝21人の時期は、本会議における議決の際、議長を除く20人で議決するため、「賛成、反対同数により議長判断」となる案件があったことだと思います。

…ちなみに、全国の市区町村議会の約80%が議員定数を偶数にしているのは、このような「議長判断」となることを防ぐためではないかという論もあるところです。

■各議員の議員定数に対する考えは

…27日の全員協議会で出された意見全体を見ると「削減を検討すべき」、「削減すべきではない」と、削減に対する考えについては表明せず、「慎重に議論すべき」とだけに留めるのみといった3つに分けられました。

◆全員協議会で出た主な意見の概要と各議員の考え

※議員名については党派ごとにまとめ、敬称は省略。議長は除く。

〈削減を検討すべき〉

(興市会)大后、二宮、(公明党)中間、佐竹、木戸岡、東口、荒幡、(正和会)和地、(無所属)中村、木下

→四半世紀ほど定数を見直していない。検討すべきだ。

→市民から「自分たちのことなのでしっかり考えてください」と言われている。定数については何が良いかというのは難しいが、時代も変わり、コロナの影響もあるので検討すべきだ。

→定数に満たない状況で8年間、議会運営をしてきた。また、人口減少や行政改革が進む中で、市議会としても議員定数を検討し、多くの議員の賛同のうえ、決定できたらと考えている。

→自身も、議員になる前は、一市民として議員数は多いと思っていた。さらに、自身が議員になってからも、その考えは変わらない。また、市民から削減するよという声も聴いている。

〈削減すべきではない〉

(共産党)尾崎、森田、上林、(やまとみどり)中野、床鍋、(自民党)森田、(無所属)実川

→市民からは議員定数を削減した方が良いという意見が多いのは承知しているが、多様な人が議会に参加することにより、多様な意見を議会に反映させたいので、削減すべきではないと思う。

→私の周りの市民からは削減を希望する声は聴いていない。市民とより密接な関係を築くことが必要なことを考えると、逆行することになるのではないかと。

→議員が定数に満たない状況は、死亡、他の選挙への立候補が理由で、市議会選挙への立候補者が足りなかったからではない。

→直接民主主義が民主主義の基本となっていることを考えると、議員定数は多い方が良い。議員報酬を低くして議員定数を増やせば、市議会議員になりたい若い人が増えるのではないかと。

〈慎重に議論すべき〉

(やまとみどり)大川、(自民党)蜂須賀、根岸

→議論することは否定しない。定数については、一度決めたら長年影響を受けるので、議員全員で納得するまで、時間をかけて議論した方が良い。

→まず、自身の周りの市民の意見を聴いてみたい。議員定数については、議員だけで決めるのではなく、市民に投げかけてみる必要があると思う。

■“感覚”や“思い”だけではなく

…市の行政運営においても、人口減少、財政状況を鑑み、公共施設の床面積20%削減などを決定していること。また、市議会議員の代表的な役割の『市民の代表として市民の声を市政に反映させること』という点からみると、多くの市民の方が22人の議員定数に意義を感じていない＝削減すべきと思っていることから、私は議員定数削減を検討すべきと思っています。

…一方、削減すべきではないという意見についても、理解できる点もありますが、「より良い市政の実現」に対する効果については、正直、不明瞭です。

…そこで、私はこの「感覚」や「思い」ではなく、他市との比較により東大和市の定数の位置づけを確認。市議会議員の定数は「人口」、「市の面積」、「財政状況」に照らし合わせて決定することが一般的。「人口」については減少傾向。「市の面積」は変化なし。「財政状況」については、国からの交付金を受けている東大和市としては、財政規模の大小で議員数を考えるということは困難だと考えました。

…以上の点を踏まえて、全国市議会議員定数の公表している「市議会議員定数に関する調査結果(令和2年12月31日現在)」のデータから、下記の内容を確認した結果、私は議員定数を2人削減し20人にするのが望ましいと、自身の考えを全員協議会で表明しました。

◆全国 815 市の人口段階別に見た市議会議員の定数の状況(令和2年12月31日現在)

東大和市の人口が該当するのは5万人～10万人未満

この人口規模の市の数＝250市

1市当たり平均議員数は20.6人

次に、人口密集度が同等の多摩26市と多摩26市の中で議員定数が東大和市と同数の22人の市と比較した。

◆議員1人当たりの市民数

東大和市	3,878人
26市全体の平均	6,485人
議員定数が22人の市の平均	4,683人

議員定数22人の市の平均から割り返すと東大和市の議員数は18人となる。

◆議員1人当たりの市の面積

東大和市(全体)	610,000㎡
東大和市(多摩湖を除く)	329,400㎡
26市全体の平均	1,220,666㎡
議員定数が22人の市の平均	601,970㎡

議員定数22人の市の平均から割り返すと東大和市の議員数は22人だが、市の面積から多摩湖を除くと12人となる。

…今回、全員協議会で出された意見をもとに、今後、どのように検討を進めるかについては、正副議長で検討すること。

…議員定数には明確な基準が無い中「なぜ、その議員数なのか」ということを理論的に説明できることは必要。1番最悪なのは、他市が削減したからといって、後追いで、意思なく定数を変えることだと思います。時代にあった市議会のあり方、そして議員の役割を再度確認する良い機会としていきたいと思っています。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。
私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102